

靈芝のマクロファージ貪食能及び炭粉清掃能への影響 (免疫薬理学の研究・4)

靈芝についての実験により、靈芝は、免疫調節剤としての作用があると思われる。靈芝の細胞性免疫への作用は靈芝の濃度と免疫機構の状態と相関している。つまり靈芝は二重免疫調節作用を持つことを示している。本研究の結果により、靈芝がマクロファージの貪食機能を著しく促進して、細網内皮細胞系の機能を強化する。マクロファージが免疫機能系の重要な成分として知られ、特異性免疫だけでなく、生体の非特異性免疫機構とも相関している。靈芝が単球マクロファージ系の機能を促進することにより、慢性疾患の治療に効果があると期待される。